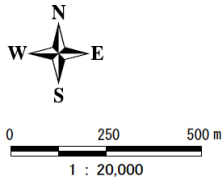


斐伊川水系飯梨川 浸水想定区域図 1



凡例

浸水した場合に想定される水深(シミュレーション)

0.5m 未満の区域
0.5 ~ 1.0m 未満の区域
1.0 ~ 2.0m 未満の区域
2.0 ~ 5.0m 未満の区域
5.0m 以上の区域

浸水想定区域の指定の対象となる水位情報周知河川

1) 説明文

①この図は、斐伊川水系飯梨川の水位情報周知区域について、水防法の規定により指定された浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その地を示したものです。

②この浸水想定区域等は、指定時点の飯梨川の河道の整備状況、布部ダムと山佐ダムの洪水調節施設の状態等を踏まえ、洪水防衛に関する計画の基本となる降雨である概ね80年に同程度の確率で発生する大雨が降ったことにより飯梨川がはん濫した場合に想定される浸水の状況を示したものです。

③なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川のはん濫、想定を超える降雨、高潮、内水によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2) 基本事項等

①作成主体 島根県

②指定年月日 平成18年5月2日

③告示番号 島根県告示第554号

④指定の根拠法令 水防法(昭和24年 法律第193号)第14条第1項

⑤対象となる水位情報周知河川 斐伊川水系飯梨川(実施区域:左岸 安来市広瀬町布部(上布部橋)から安来市赤江町(河口)まで、右岸 安来市広瀬町布部(上布部橋)から安来市赤江町(河口)まで、平成17年8月5日付け島根県告示第881号)

⑥指定の前提となる計画の基本となる降雨 流域全体に1日の総雨量270mm、ピーク時の1時間に60mmの降雨がある場合。

⑦関係市町村 安来市

⑧その他計算条件等 山佐川合流点より下流区間は、はん濫区域を50メッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算、山佐川合流点より上流区間は河道とはん濫区域を一体として200mごとに浸水深を計算

